

## 19. 東門



一間一戸四脚門、切妻造り、本瓦葺きの門です。南正面の仁王門とは趣きを変え、巡礼街道に面した境内西北に建てられています。

門の左右の築地塀（ついじべい）は、もともと練塀（ねりべい）で一部が保存されています。

## 20. 寺カフェ「ポタラ」



形状は八角形であるという。インドの南端の海岸にあるとされた。補陀落山（ふだらくせん）とも称す。

屋根が特徴的な建物です。

「ポタラ」は観音浄土を意味する古代サンスクリット語のポータラカ（補陀洛）から来ていて、補陀洛の山並みをイメージしています。

補陀落（ふだらく、梵（ボン）：

Potalaka）は、観音菩薩の降臨する霊場であり、観音菩薩の降り立つとされる伝説上の山である。その山の

形状は八角形であるという。インドの南端の海岸にあるとされた。補陀落山

（ふだらくせん）とも称す。

## 21. 総持寺 奥院



総持寺 奥院 茨木市三島町 5-

32

『大阪史蹟名勝天然記念物』に「中納言山蔭墓は奥院に在り、濠渠を繞らしたる封土に1基の五輪塔あり、中央に「中納言山蔭郷」左側に「寛永21年2月4日」右側に願主當住法印隆度とあり。表面の左右側に當寺開基800年忌とあれば800年忌の

供養塔なり。」とある。現在は奥院の建物は見当たらず、総持寺霊園となっている。